

I. 2019年度総会および春季研究発表会のご案内

1. 2019 年度総会および春季研究発表会のご案内

日本マス・コミュニケーション学会 2019 年度総会および春季研究発表会を別記の通り開催いたしますので、ご参集のほどお願い申し上げます。

2019 年 4 月 24 日

日本マス・コミュニケーション学会会長 佐藤 卓己

同 企画委員長 大谷 奈緒子

同 企画副委員長 鈴木 秀美

同 企画副委員長 渡邊 久哲

2. 2019 年度総会および春季研究発表会プログラム

期 日：2019 年 6 月 15 日（土）～16 日（日）

会 場：立命館アジア太平洋大学（〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1）

受付（F 棟ピロティ）、個人・共同発表（F 棟 2 階教室）、

シンポジウム 1・2（F201 教室）、若手ワーキングセッション（F202 教室）、

国際委員会セッション（F203 教室）、

総会、会長・開催校挨拶（F104 教室）、理事会（F112 教室）、

ワークショップ（F 棟 1 階、2 階教室）、

会員控室（F103 教室）、大会本部・役員打合せ会場（F107 教室）

大会事務局（連絡先）：竹川俊一会員

Tel: 0977-78-1076

Fax: 0977-78-1123

E-mail: stakekaw@apu.ac.jp

●研究発表論文集（発表予稿集）のオンライン公開について

個人・共同研究発表の研究発表論文集（予稿集）の公開サイトは、以下の URL です。

<http://mass-ronbun.seesaa.net/>

日本マス・コミュニケーション学会のホームページ <http://www.jmscom.org/> からもリンクが貼られています。2019 年度春季研究発表会の研究発表論文は 5 月 25 日（金）から上記サイトで公開の予定です。

6月15日(土)

9:00 受付開始 (F棟ピロティ)

10:00 開 会

<午前の部>

10:00～11:30 個人・共同研究発表

A 会場 (F201 教室)

司 会 者 : 水 野 剛 也 (東 洋 大 学)

10:00～10:30 公共放送の必要性

－BBC は市民社会の敵か？味方か？－

山 本 雄 美 (福岡大学大学院 院 生)

10:30～11:00 県域民間ラジオ局における番組制作者の能力に関する研究

－ドキュメンタリー番組制作における番組制作者の変容プロセス－

佐 野 有 利 (法政大学大学院 院 生)

11:00～11:30 「テレビまんが」

－「アニメ」前史における視覚文化の変容－

北 波 英 幸 (関西大学大学院 院 生)

B 会場 (F202 教室)

司 会 者 : 長 崎 励 朗 (桃 山 学 院 大 学)

10:00～10:30 ケアを実践する場としてのメディア教育

－特別支援学校卒業生向け「生涯学習」からの考察－

引 地 達 也 (上智大学大学院 院 生)

10:30～11:00 ブライダル情報誌『ゼクシィ』に見る結婚イメージの個人化

彭 永 成 (京都大学大学院 院 生)

11:00～11:30 情報通信産業等振興税制とスポーツジャーナリズムの地域性の形成

松 実 明 (中央学院大学)

C 会場 (F203 教室)

司会者：山腰修三 (慶應義塾大学)

- 10:00～10:30 日台関係史からみる台湾における日本文化受容の揺らぎ
王詩芬 (東京大学大学院 院生)
- 10:30～11:00 植民地台湾にみる帝国日本の外地言論体制確立の一類型
谷川舜 (早稲田大学大学院 院生)
- 11:00～11:30 米紙における脱ニュース化と記事形態の変化
谷川幹 (国際教養大学大学院)

<昼の部>

- 10:30～11:30 第36期第14回理事会 (F112 教室／昼食を用意します)
- 11:40～12:50 総会、会長・開催校挨拶 (F104 教室)
有山輝雄名誉会員 記念講演
第7回内川芳美記念日本マス・コミュニケーション学会賞授与式
- 12:50～13:40 ランチタイム
※昼食について
- ・学内の生協カフェテリア (11:30～13:30) をご利用ください。
 - ・第37期第1回理事会 (F112 教室／昼食を用意します)
 - ・シンポジウム1 打ち合わせ (F205 教室／昼食を用意します)
 - ・若手セッション打ち合わせ (F206 教室／昼食を用意します)
 - ・国際委員会セッション打ち合わせ (F207 教室／昼食を用意します)
- 13:45～14:05 総会再開、新会長挨拶 (F104 教室)

<午後の部>

- 14:10～16:40 シンポジウム1 (F201 教室)
県境を越え、国境を超え
大分県における放送メディアの海外展開と地域活性化の試みから
- 司会者：村上圭子 (日本放送協会)
問題提起者：工藤洋史 (大分放送)
阿部洋樹 (テレビ大分)
橋本英子 (大分朝日放送)
- 討論者：平田誠司 (J:COM 大分ケーブルテレコム)

16:45～18:45 【◆は同時開催】

◆若手ワーキングセッション (F202 教室)

若手とベテランの間に「溝」はあるか？

ー若手研究者からの提言とその実現可能性ー

司会者：大尾侑子（日本学術振興会特別研究員）

問題提起者：長崎励朗（桃山学院大学）

松井広志（愛知淑徳大学）

討論者：佐藤卓己（京都大学）

大石裕（慶應義塾大学）

◆国際委員会セッション (F203 教室)

韓国の地域新聞の不動産開発事業事例と地域ジャーナリズムの未来

ー日本との比較を試みとしてー

司会者：黄盛彬（立教大学）

問題提起者：呉杵泳（嘉泉大学）

尹熙閣（釜山外国語大学）

19:00～20:20 懇親会（開場 18：45）

会場：立命館アジア太平洋大学内（生協カフェテリア）

参加費：一般会員 3,000 円（当日 4,000 円）

院生会員 1,000 円（当日 2,000 円）

※懇親会終了後、JR 別府駅までチャーターバスを用意しています。

事前申込制です。

第 2 日 6 月 16 日(日)

9:00 受付開始 (F 棟ピロティ)

9:00～10:00 シンポジウム 2 打ち合わせ (F205 教室)

<午前部>

10:00～12:30 シンポジウム 2 (F201 教室)

格差社会における人々の意識とテレビの立ち位置の変化

ーテレビの信頼の揺らぎの構造分析と対策ー

司会者：音好宏（上智大学）

問題提起者：渡邊久哲（上智大学）
桶田敦（大妻女子大学）
上野輝幸（大分朝日放送）
討論者：藤谷健（朝日新聞）

<午後の部>

12:30～13:30 ランチタイム

※昼食について

- ・学内の生協カフェテリア（11:30～13:30）をご利用ください。
- ・ワークショップ打ち合わせ（各ワークショップ会場／昼食を用意します）

<午後の部>

13:30～16:00 ワークショップ

ワークショップ1（F205 教室）

NHK 放送法遵守義務確認訴訟の意義と論点

－放送制度改革の一つのモデル論－

司会者：井上禎男（琉球大学大学院）

問題提起者：稲葉一将（名古屋大学大学院）

（企画：稲葉一将会員）

ワークショップ2（F206 教室）

英字新聞の災害報道

－在日外国人への情報提供と国際的評価をめぐって－

司会者：松永智子（東京経済大学）

問題提起者：大門小百合（ジャパンタイムズ）

（企画：松永智子会員）

ワークショップ3（F207 教室）

大手報道機関 22 社は公開質問に適切な対応を取ったか

司会者：戸田清（長崎大学）

問題提起者：風斗博之（東北学院大学）

（企画：風斗博之会員）

ワークショップ4 (F208 教室)

洋楽受容の地政学的変化

— 羅針盤を失った日本のポピュラー音楽 —

司会者：南田勝也 (武蔵大学)

問題提起者：永井純一 (神戸山手大学)

(企画：南田勝也会員)

ワークショップ5 (F211 教室)

ネットで広がる誤情報・虚偽情報の「打ち消し報道」のこれから

— 放送局は災害時の流言やフェイクニュースなどどう向き合えばよいか —

司会者：佐藤友紀 (日本民間放送連盟)

問題提起者：福長秀彦 (日本放送協会)

討論者：国枝智樹 (上智大学)

(企画：放送研究部会)

ワークショップ6 (F212 教室)

ファクトチェックとジャーナリズム教育

司会者：徳山喜雄 (立正大学)

問題提起者：滝本匠 (琉球新報社)

討論者：小川明子 (名古屋大学)

(企画：ジャーナリズム研究・教育部会)

ワークショップ7 (F108 教室)

「脱原発」のメディア・言説史を考える

— フクシマ以前/以降 —

司会者：山本昭宏 (神戸市外国語大学)

問題提起者：日高勝之 (立命館大学)

討論者：福間良明 (立命館大学)

(企画：メディア史研究部会)

ワークショップ8 (F109 教室)

メディア研究×地域研究の新しい可能性

— 〈平和都市〉広島を例に —

司会者：河兎珍 (広島市立大学)

問題提起者：仙波希望 (広島文教大学)

討 論 者：西井麻里奈（日本学術振興会特別研究員）
（企画：メディア文化研究部会）

ワークショップ9（F110 教室）

メディアの信頼構造の理論化

司 会 者：黒 田 勇（関 西 大 学）
問題提起者：渡 邊 久 哲（上 智 大 学）
討 論 者：保 高 隆 之（日 本 放 送 協 会）
（企画：理論研究部会・企画委員会共同企画）

ワークショップ10（F111 教室）

ネットワーク社会としての学会

司 会 者：水 越 伸（東 京 大 学）
問題提起者：伊 藤 守（早 稲 田 大 学）
（企画：ネットワーク社会研究部会）

ワークショップ11（F112 教室）

放送業界にも破壊的縮小の時代は来るか？

司 会 者：音 好 宏（上 智 大 学）
問題提起者：下 山 進（慶 應 義 塾 大 学）
討 論 者：有 馬 正 敏（南 日 本 放 送）
（企画：メディア倫理法制研究部会）

ワークショップ12（F209 教室）

【ワークショップ12は英語を使用します】

Contested Freedom of Speech at Present

Moderator: Hirotaka Suzuki (University of the Sacred Heart)

(国際委員会・立命館アジア太平洋大学共同企画)

13:30～13:55 Okinawa Media Representation of Emperor Hirohito and Article One of Japanese Constitution

Presenter: Hideko Yoshimoto (Yamaguchi Prefectural University)

13:55～14:20 Japanese Media Reports on Hate Speech

Presenter: Yoshie Niijima (Musashino University)

14:20～14:45 Broadcast Journalism and #MeToo Movement in South Korea

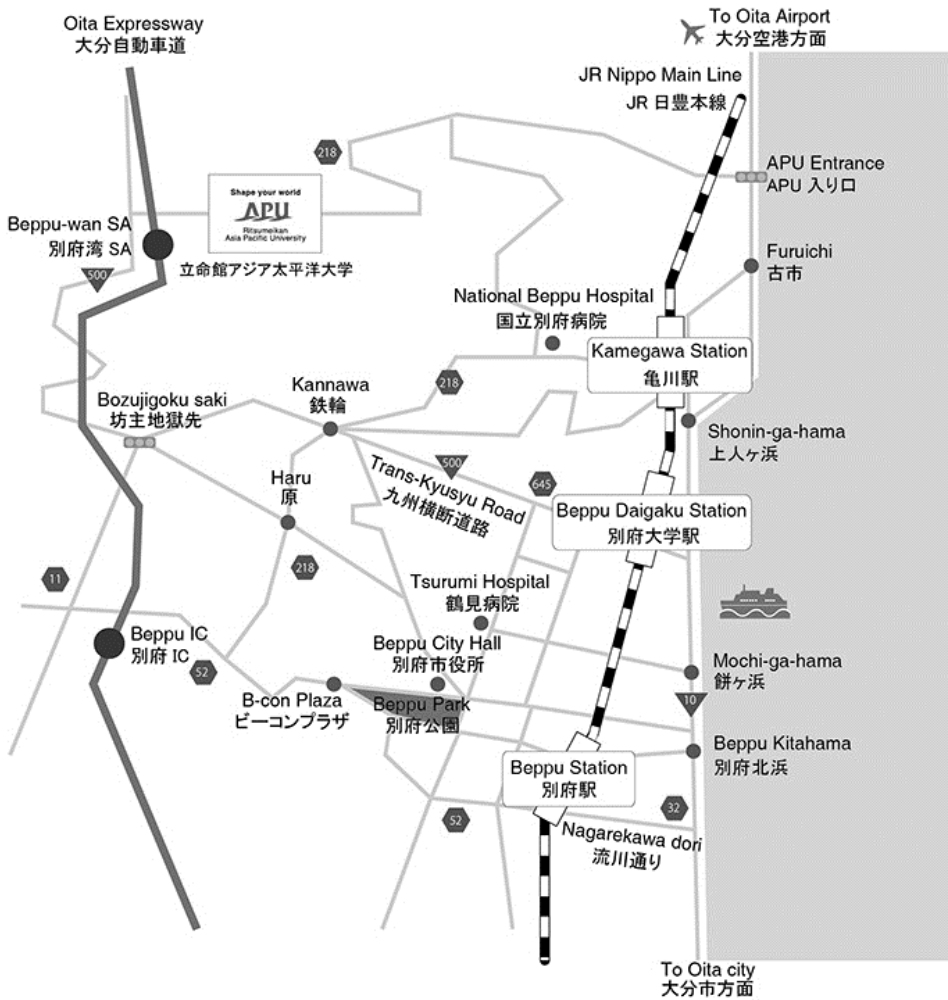
Presenter: Misook Lee (Rikkyo University)

- 14:45～15:10 From Daigo Fukuryū Maru (1954) to Fukushima (2011): Japanese Culture Under Threat? Evolution of the Media Discourse in the Aftermath of Nuclear Disaster -
Presenter: Tino Bruno (Tokai University)
- 15:10～15:35 Analysis of News Sources for Reporting Human Rights Issues in China:
A Comparison of the New York Times and Asahi Shimbun, 2007–2009
Presenter: Koichi Hanyu (Tokai University)
- 15:35～16:00 Discussion on Internationalization of Japanese Media & Communication Studies
Chairperson: Takesato Watanabe (Doshisha University)
Presenter: Seongbin Hwang (Rikkyo University)

ワークショップ終了後(16:00～16:30)、大分空港までチャーターバスを用意しています。
事前申込制です。

3. 会場案内

◎アクセス



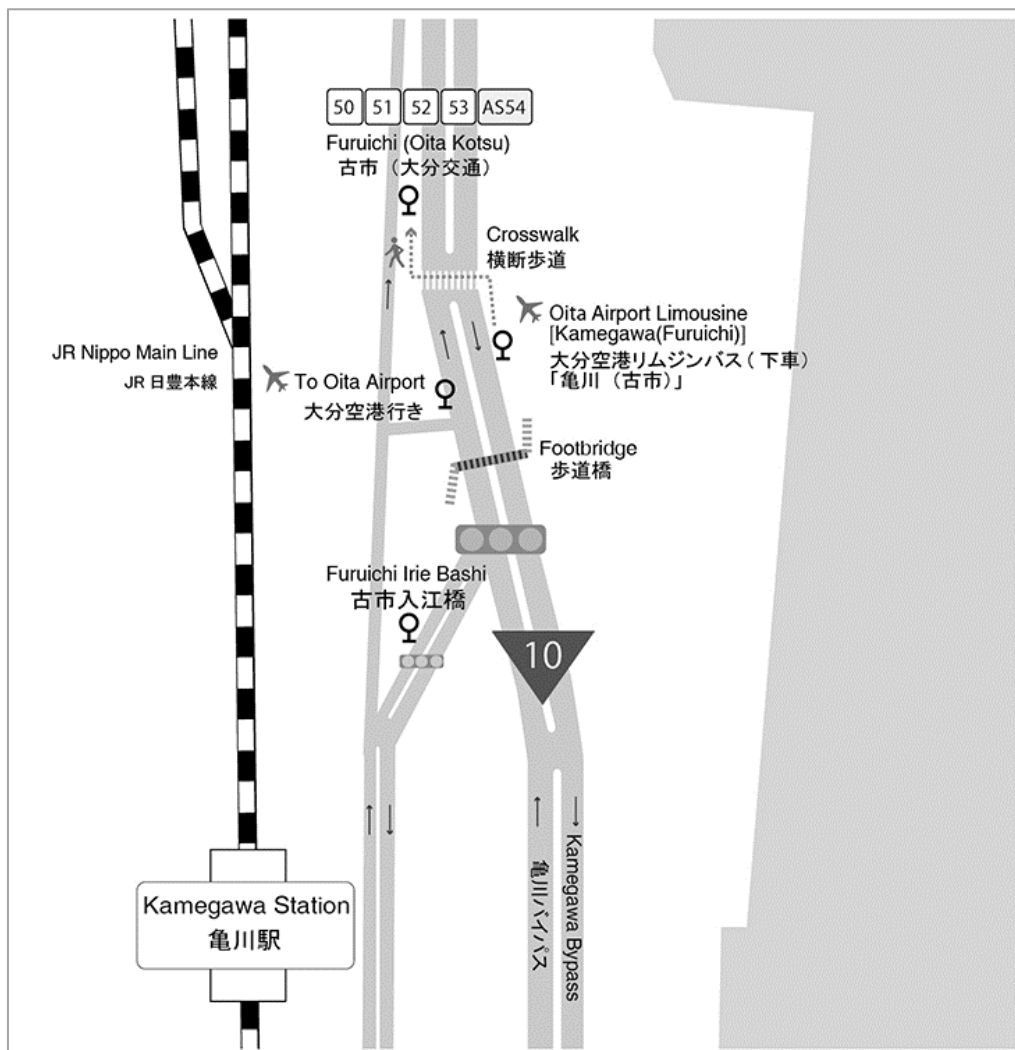
<大分空港より>

- ① 大分空港より、空港リムジンバス「エアライナー」に乗車。「亀川（古市）」で下車。

料金：片道 1350 円、所要時間：約 35 分。

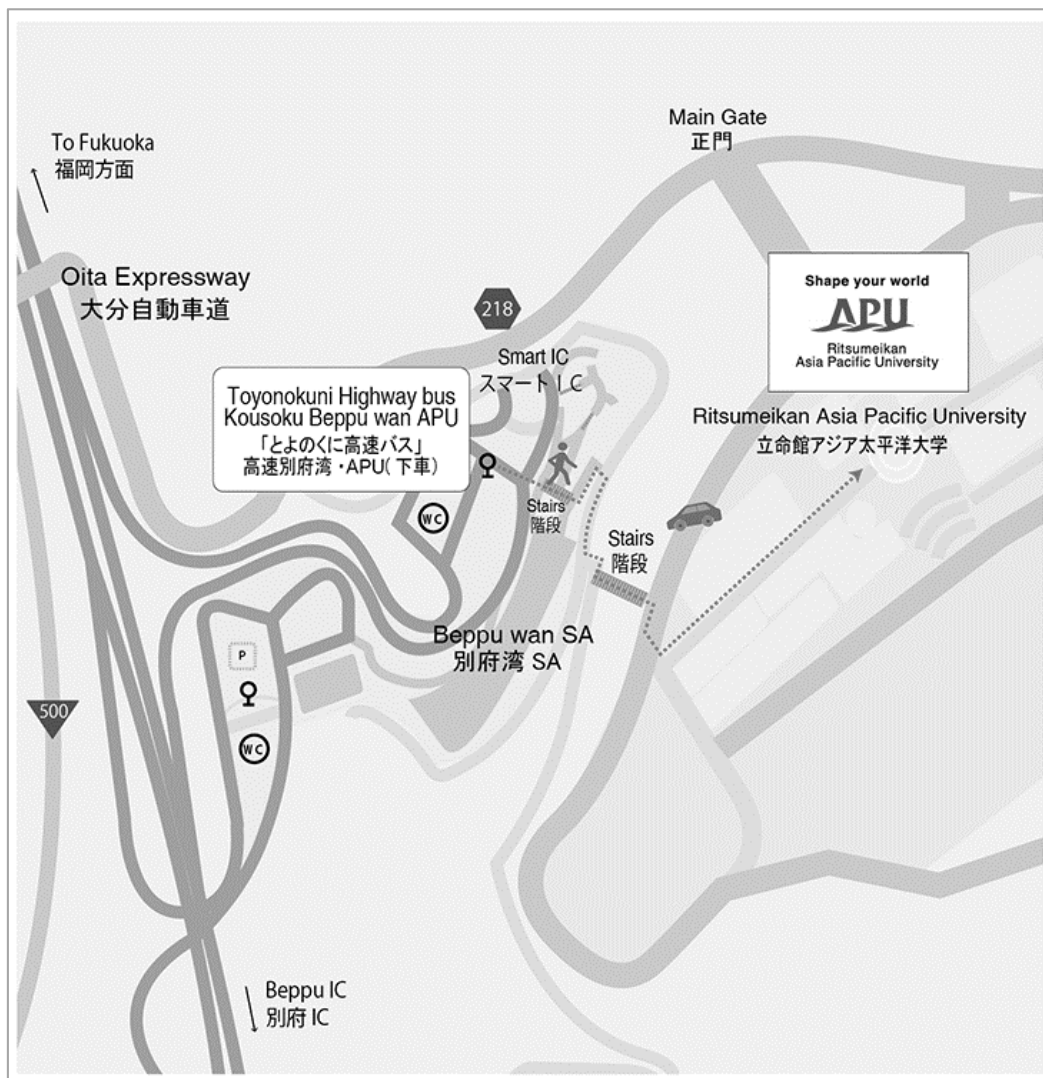
- ② 「亀川（古市）」バス停より、道の反対側へ渡り、大分交通バス「古市」バス停より「立命館アジア太平洋大学 APU」行きに乗り換える。

料金：片道 340 円、所要時間：約 10 分。



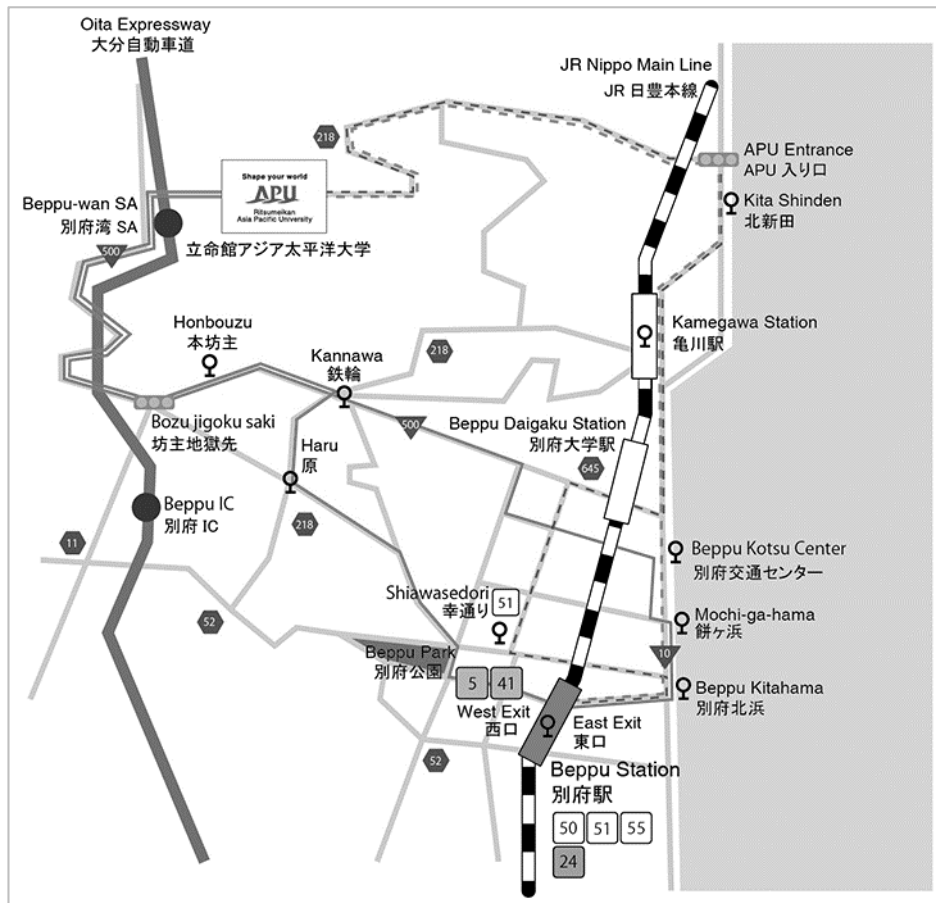
<福岡方面より>

- ①博多バスターミナル・福岡空港国際線より高速バスを利用。高速バス「とよのくに」に乗り。別府湾 SA 内「高速別府湾・APU」で下車。
- ②サービスエリア裏手の階段を降り、APU に入校（教室側）
 - ・経路は次ページ図の点線を参照。
 - ・階段は屋外で急勾配の為、日中の晴天時のみこの経路をご利用ください。
 - ・階段を降りると車道に出るので、気をつけて横断してください。
 料金：片道 3190 円、所要時間：博多より約 140 分、福岡空港より約 100 分。



<JR 別府駅より>

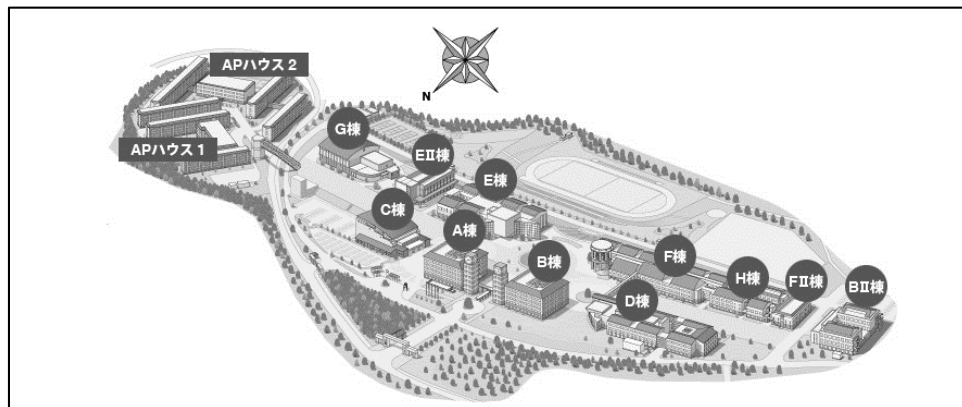
- ・ルート① 別府駅西口より、亀の井バス 5 番（野口原経由）または 41 番（サファリ線）に乗車。料金：片道 560 円、所要時間：約 35 分。
- ・ルート② 別府駅東口より、亀の井バス 24 番（新港町経由）のバスに乗車。料金：片道 560 円、所要時間：約 40 分。
- ・ルート③ 別府駅東口より、大分交通バス 50 番、または 55 番に乗車。料金：片道 560 円、所要時間：約 35 分（※55 番は快速の為 25 分 <途中下車なし>）。
- ・ルート④ 別府駅東口より、大分交通バス 51 番のバスに乗車。料金：片道 560 円、所要時間：約 40 分。



<JR 亀川駅より>

JR 亀川駅より、大分交通バス「立命館アジア太平洋 APU」行き (50 番、51 番、52 番、53 番、AS54 番) に乗車。料金：片道 340 円、所要時間：約 15 分。

◎キャンパスマップ



4. 会場配置図

Classrooms <Bldg F>

教室棟

3F	教室 F301 ~ F304 Classrooms F301 ~ F304	個人研究室 F331 ~ F346 Faculty Office F331 ~ F346	
2F	教室 F201 ~ F214 Classrooms F201 ~ F214	TA 執務室 TA Office	
1F	教室 F101 ~ F112 Classrooms F101 ~ F112	言語自主学习センター (SALC) Self-Access Learning Center	和心庵 (茶室) HUT OF PEACE SPIRIT-Tea Ceremony Room

